

2022年度 特定行為研修シンポジウム
院内から地域へ特定行為研修修了者の活躍を考える

研修の学びをいかした チーム活動の実際と課題

藤枝市立総合病院
クリティカルケア特定認定看護師
看護部 ICU
藤田智和

私の修了した特定行為 (日本看護協会看護研修学校 救急・集中ケアモデル)

特定行為区分 (6区分)	特定行為 (15行為)
呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
動脈血液ガス分析関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直接動脈 穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正
循環動態に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整

特定行為研修修了～1年

どのように活動するか模索した

ICU内から活動を始めた

★ICU看護師長やICU室長と活動方針を話し合い

★実践した特定行為の記録

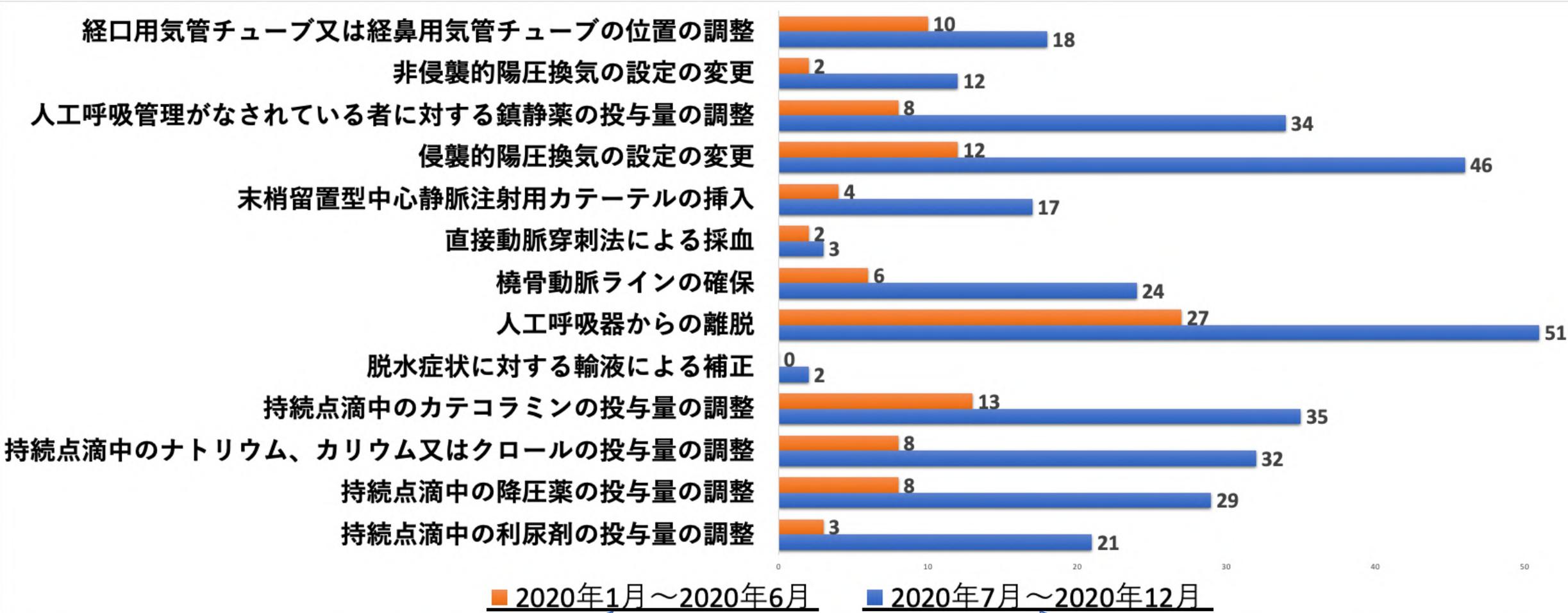
→ICU運営委員会や看護部への報告を徹底



医療事故の発生なし

活動環境を整えることで**実施件数が増えた**

特定行為件数の変化



6ヶ月 103件

増加

6ヶ月 324件

人工呼吸器からの離脱（主なタスクシフト）

- ・ 主にICU室長から指示
- ・ 手順確認、手順書から外れた場合の対応を確認



担当看護師と気をつける観察ポイントを共有
自発覚醒トライアル・自発呼吸トライアルの実施



報告



特定行為を実施 している様子（撮影用）

経口用気管チューブ又は
経鼻用気管チューブの位置の調整



ICU室長

特定看護師連絡会
「特定行為
やらまいか浜松」



特定行為やらまいか浜松

橈骨動脈ラインの確保



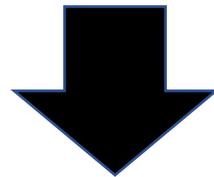
橈骨動脈穿刺は必ず
エコー下で行います！

ICU内の活動が整ってきたけど・・・

特定行為
研修



認定看護師



さらに特定行為研修の学びを活かした
活動はできないだろうか？

私を取り巻く課題

＜特定・認定看護師＞

- ・ 院内の看護・医療への貢献

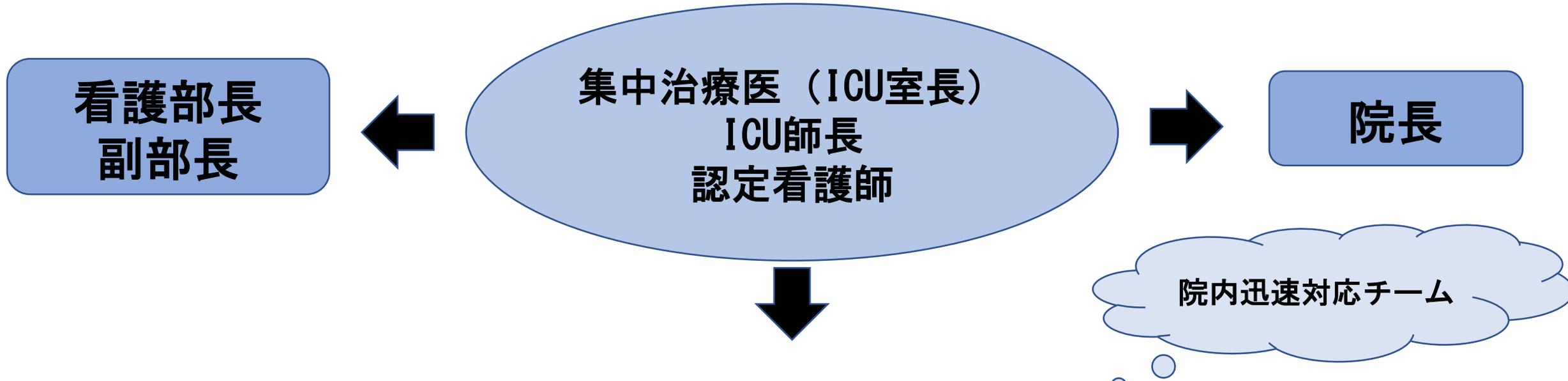
＜ICU＞

- ・ 週末ICU稼働率低下
- ・ 院内医療安全向上

集中治療医（ICU室長）・ICU師長・認定看護師
で話し合い

**院内急変を未然に防ぐ（急変前対応）活動
に取り組むことを決めた**

院内急変を未然に防ぐ活動



2020年7月～RRT (Rapid Response System) の
CCOT (Critical Care Outreach Team)

当院では周知しやすいよう **見守り隊** と称して活動開始

見守り隊

- 院内急変を未然に防ぐことが最大の目的
- 当日のICU退室患者・全身麻酔後患者をラウンドし、
主に**看護師のコンサルテーションを受ける**
- 見守り隊は
毎週金曜日（勤務時間：12:30～21:15）から始めた

患者担当業務はせず、一つの業務として活動



見守り隊

- ・メンバー（当初）

ICU室長（集中治療専門医） 1名

クリティカルケア認定看護師 2名



↑
ICU室長

- ・院内急変はICUへ入室

現在はICUスタッフを中心に
5回/週 活動

・臨床推論の知識を活用して患者の観察

・橈骨動脈ラインの確保 など特定行為の実施

見守り隊の起動に必要なもの (病棟スタッフにいかに呼んでもらえるか)

抜粋

- Thank you for calling (呼んでくれてありがとう)

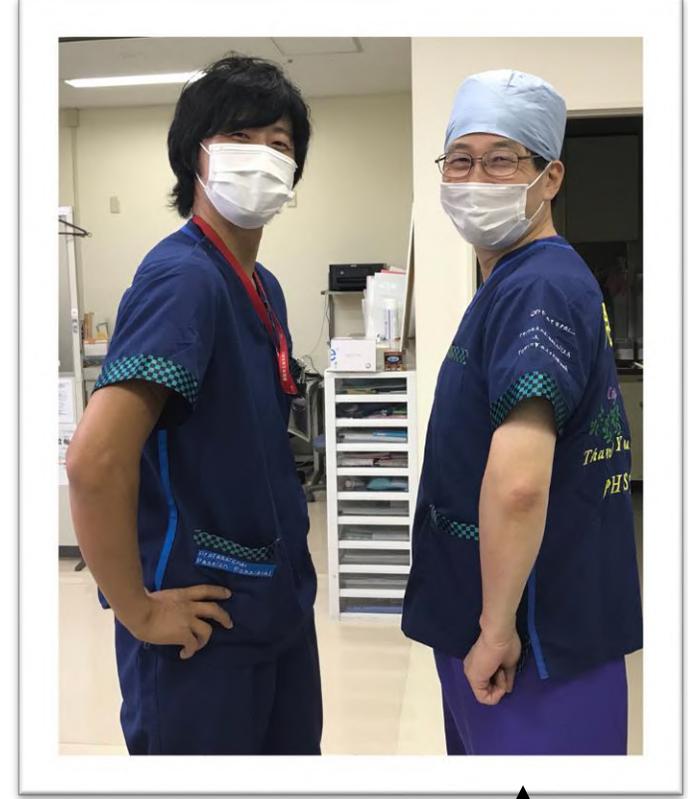
理念の定着

- 「心理的安全性」を心がけた対応
- 気軽に声をかけられる(いじられるチーム)

啓発(ユニフォーム)



ICU看護スタッフの
手作り！！
アイロン持ってきてくれた
スタッフもいた！



↑
ICU室長



啓発(掲示)

病棟 **見守り隊**

状態悪い人、悪くなりそうな人

いつもと何かが違う!? と思ったら...

ビッチ番号変わりました!!!

PHS : 3 2 5 1

みにこい

へご連絡ください♪

☆それ以外は ICU: 3932 へどうぞ☆

1. 下記以外でなにか 変 である	
2. 心拍数	<40 または >130回/分
3. 収縮期血圧	<90mmHg
4. 呼吸回数	<8 または >28回/分
5. 経皮的酸素飽和度	<90%
6. 意識の変容(もうろうとしてる、そわそわしてるなど)	
7. 尿量の低下	<50ml/4時間 (測定できない場合は尿回数低下・一回量低下)
8. 体温	<35 または >39度

見守り隊コール基準

1. 下記以外でなにか 変 である	
2. 心拍数	<40 または >130回/分
3. 収縮期血圧	<90mmHg
4. 呼吸回数	<8 または >28回/分
5. 経皮的酸素飽和度	<90%
6. 意識の変容(もうろうとしてる、そわそわしてるなど)	
7. 尿量の低下	<50ml/4時間 (測定できない場合は尿回数低下・一回量低下)
8. 体温	<35 または >39度

日本院内救急検討委員会. Managing Deteriorating Patients 1st ed,P.28,2018.より引用,改変

① **パツとみて**相手の様子感じる

躊躇せずに人を集める

② **ABCDE**の観察

③ 急ぎの報告不要or詳細確認が必要

④ 現病歴 既往歴 薬歴
アレルギー 社会歴 家族歴
その他身体診察

仮説

Nsの評価

第一印象

↓
一次評価

↓
二次評価

当院における一般病棟での急変前対応への取り組み

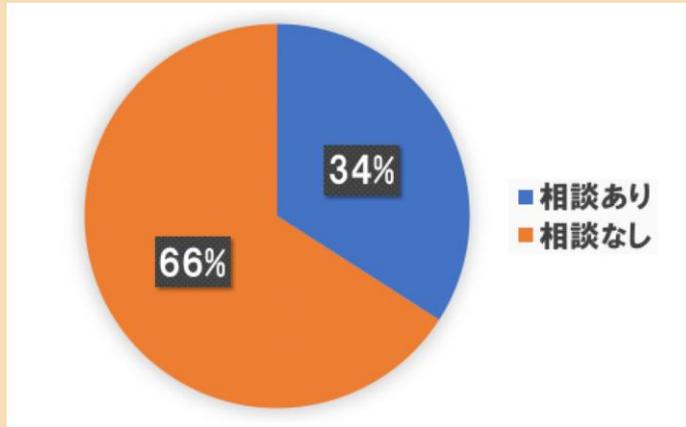
【対象】

令和2年7月1日～令和3年6月30日の間に見守り隊がラウンドを実施した患者

- ICU退室患者
- 当日全身麻酔を受けた患者
- 病棟師長やリーダーNsから対応を依頼された患者 など

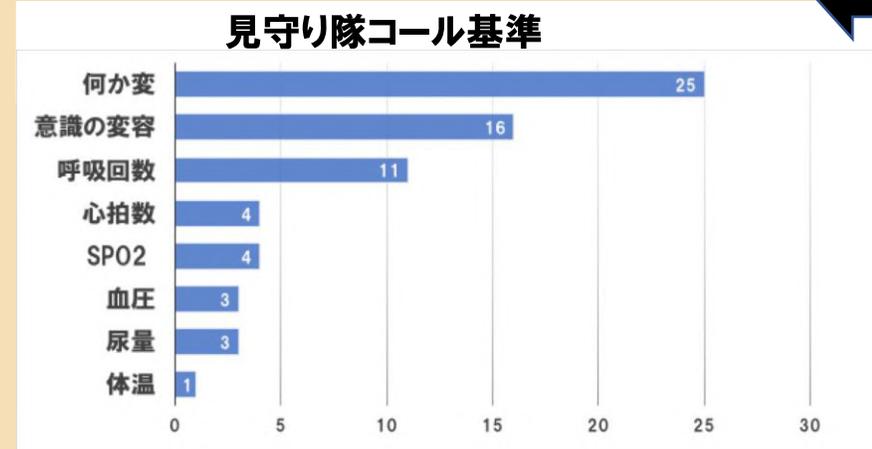
ラウンド件数

- 924件 (平均77件/月)
- そのうち相談件数 315件 (平均18件/月)



ICUへ入室して集中治療を要した件数

- 30件 (平均3件/月)



CPRコール件数



見守り隊を始めて気づいたこと

特定行為
研修



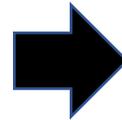
認定看護師



見守り隊



顔が見える関係性
病棟で困っていることに
手を差し伸べる



患者の状態を見極め
タイムリーにケア

課題と今後（院内から地域へ）

看護の視点を
持って

ICU内・見守り隊
横断的な**活動の継続**

多職種の架け橋

医師を含む多職種からの**信頼**

地域で何ができるのか？
大人に限らず子供にも。

在宅等の院外での活動へ